



2023年6月2日

日本鉄道労働組合連合会

～JR 連合青年・女性委員会 第27回ユースラリー～

北海道の地に未来を担う組合員 100 名が集結！

JR連合青年・女性委員会は、北海道地方協議会準備のもと、「第27回ユースラリーin 北海道」を5月19日～21日にかけて北海道の地で開催した。

北海道での開催は2017年以来6年ぶり、また、2泊3日での開催も、2018年以来5年ぶりとなる中、「HIGH COMMUNICATIONS Do you?」をテーマに、昨年JR北労組に加入した多くの新入組合員に加え、JREユニオン、貨物鉄産労組合員を含む、全国から100名を超える組合員が集結した。



1日目は、札幌市青少年山の家においてグループでの絆を深めるレクリエーションとカレーライス作り、2日目は12グループに分かれて札幌市内を巡るウォークラリーを行った。



その後は札幌市内において懇親会を開催し、来賓としてJR連合から荻山市朗会長、宮野勇馬企画局長、JR北労組から昆弘美中央執行委員長、人見圭一書記長が出席した。



荻山会長は挨拶の中で、「青・女世代の皆さんがこれからのJR連合運動を担う原動力である。国鉄末期のような、雇用不安を二度と起こしてはならない。健全な労使関係を創ることができるJR連合への総結集に引き続きご協力願いたい」と述べ、JR連合運動の未来を担う青・女組合員への期待を伝えた。

3日目は学習会として、JR連合青・女の三浦寛顕事務長より、「JR各社で離職が増えている現状について講義があり、その後「役員・組合員の一員として、魅力ある労働組合・会社をこれからも創り上げるためにできること」をテーマにグループに分かれてディスカッションを行った。



最後にJR連合青・女沖畠裕章議長は、「この3日間で得られた知識・経験を是非出身組織でも伝えてほしい。皆さん一人ひとりがJR連合青・女運動の活動の担い手であることを忘れないでほしい」と挨拶を行った。

JR連合は、若い声と力を基本組織の各種運動に反映すべく、引き続き青・女運動を力強く推進していく。